

迎古夢旅 4647 : 赤毛のアン・舞台鑑賞 P104

冒頭から、下記画像、言い訳になりますが、最初のエドワード、プリンス島の訪問時、
現在のように、著作権云々も厳しくなく、第三者の迷惑にならないよう、
充分な配慮して**画像記録**。私が**訪問したという証明**でもある。
先方の関係者に、個人的な使用は、差し支えなしと、了解を得て画像を記録、所持していた。



私の場合、観賞でなく、**鑑賞**という漢字を使用したのには、それなりの訳がある。

当初は、他国でも、広報して欲しいとの要望を聞くこともあった。

世界で作品展を開催するのも、**夢挑戦の一つ**だった。

PEI、2回目、3回目の訪問は、自然始め、地球のかおりの取材だった。

当時、**1年間で合計7ヶ月**、取材の**海外滞在**をした体験もある。**取材目標も多目的**だった。

このプリンス、エドワード島、訪問時、日本人とは、ほとんど出会わなかった。

舞台鑑賞も、取材画像のように、実にいい席だった。

下記も、舞台終了後の、観客からの絶大な拍手に応えての、皆さんの笑顔。

カーテンコールというのか、**演じきった**出演者の皆様が生き生き。

ヨーロッパと比較しても遜色なし。**自分への投資**で、各国の芸術、文化体験に資金投入。

背伸びだが、その後も、世界の各都市で鑑賞。いい学びになったと思う。

下記、ネガフィルムで、駄目になった画像だが、面白いので掲載。

主役はアンだが、この舞台ではアンが住むことになる**カスパート家の兄妹、その見事な演技。**

物語の内容といい、**出演者との街での出会い**もあって、素晴らしい思い出になった。

世界は広い、という印象。**私も立ち上がって、手が痛いくらい、拍手。**

いつまでも、鮮明に、潜在意識に残っているので、火がついて、掲載させていただいた次第。

感動、感銘。まさに、**いい思い出は、心の財産。**

